

平成 28 年度

第 2 回 大玉村民俗芸能大会

日 時 平成 29 年 1 月 22 日(日曜日) 午後 1 時から

会 場 大玉村農村環境改善センター 多目的ホール

【第 1 部】講演会

講 演 「大玉村歴史文化基本構想について」

講 師 懸田 弘訓 氏

(大玉村文化財保護審議会委員長・大玉村歴史文化基本構想等策定委員会委員長)

「歴史文化基本構想」とは、地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するための構想であり、文化財保護に関するマスタープランとしての役割を果たし、さらに、文化財を生かした地域づくりに資するものです。

【第 2 部】民俗芸能発表

今回は本宮市の稲沢御田植踊保存会にも特別出演いただきます。

○演目解説 懸田 弘訓 氏

○玉井二区太鼓台 玉井二区若若連

玉井二区の太鼓台は、明治 38 年日清戦争の戦勝祝いとして二本松若宮の太鼓台を新しくした際、玉井二区の玉応平次郎氏が二本松藩時代からの貴重な太鼓台を譲り受け、同区若連に呼びかけて曳いて来たといわれている。【村指定無形民俗文化財】



○大山小学校(神原田神社十二神楽)

大山小学校4年生の児童が地域から学ぶ、総合的な学習の一環として、保存会の指導のもと十二神楽を実際に体験している。保存会の方々とふれあいを通して地域のよさを再確認し、十二神楽を受け継いでいこうと思いをふくらませている。



○玉井小学校(本揃田植え踊り)

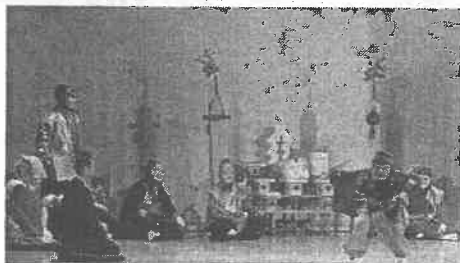
玉井小学校5年生の児童が次代の担い手として、保存会の方々のふるさとを思いう心にふれながら、ふるさとの昔、今、これからについて学びを深めている。



特別出演

■七福神舞(本宮市 稲沢御田植踊保存会)

七福神舞は、検見使の慰労のために御田植踊に先立って舞われ、七福神が福を呼び厄を祓うとされている。旧正月の小正月の行事として地域の年重ねの祝いや厄祓いの行事として行われ、近年は地域の行事にも出演されている。



○神原田神社十二神楽

今から約250年前から伝わる出雲流神楽で、郡山市熱海町高玉から伝来したものとも言われている。現在春と秋の例祭に五穀豊穡を祈願して奉納されている。【村指定無形民俗文化財】



○本揃田植え踊り

古くから本揃地区に伝わる民俗芸能で、稲作の過程を笛や太鼓、唄の囃子にあわせて踊るもので、21種の演目があり、小正月に豊作祈願や厄払いに踊られていた。現在は毎年ふるさとホールにて踊られている。【村指定無形民俗文化財】



○玉井三区太鼓台 若桜会

平成9年に同区住民の協力により、太鼓台が作られた。玉井二区の太鼓台とともに秋祭りに太鼓台を運行している。



スケジュール

- ◎ 13時00分～ 開会式
- ◎ 13時20分～ 講演会「大玉村歴史文化基本構想について」
- ◎ 13時50分～16時00分
 - ①玉井二区太鼓台(玉井二区若桜連)
 - ②本揃田植え踊り(玉井小学校)
 - ③神原田神社十二神楽(大山小学校)
 - ④七福神舞(本宮市 稲沢御田植踊保存会) 特別出演
 - ⑤本揃田植え踊り(本揃田植え踊り保存会)
 - ⑥神原田神社十二神楽(神原田神社十二神楽保存会)
 - ⑦玉井三区太鼓台(若桜会)

主 催 大玉村民俗芸能大会実行委員会
共 催 大玉村・大玉村教育委員会・大玉村文化団体連絡協議会
後 援 福島民報社・福島民友新聞社
問い合わせ 大玉村教育委員会 生涯学習課 ☎0243-48-3139